

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 12 月 14 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473100562		
法人名	医療法人社団林医院		
事業所名	グループホーム蛍の家		
所在地	広島県呉市倉橋町石持154番地1号 (電話) 0823-50-2122		
自己評価作成日	平成27年11月24日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3473100562-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3473100562-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人 広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成27年12月9日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>家庭的で、落ち着いた雰囲気大切に、地域の行事に参加したり、季節ごとの行事を行い季節感を感じていただいております。また、定期的に地域の小学校との交流会の開催や、ボランティアの三味線の演奏会など、多世代の交流を行っております。田舎に立地している分、庭が広く散歩や、運動、レクリエーションに活用しております。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所が、ここ1年間実施して来たことは、第一に、地域との相互交流・世代間交流である。地域の小学校とは、5月運動会・11月学習発表会に見学に行き、6月は歌・9月敬老の日には事業所訪問があった。夏祭りには中学生の手伝い訪問もあった。利用者は若い力に触れ、大声を出し、元気をもらい、また癒しのひと時を過ごした。第二に、運営推進会議の活性化である。今年に入り、民生委員会議への働きかけで2月から民生委員の参加が可能となったり、女性会（自治会）の知り合いの地域住民の参加があったり、また女性会からの提案で、年に1回運営推進会議の開催日に避難訓練を実施することになった。第三に、外出支援の活性化である。音戸の瀬戸のツツジ見物等の季節行事は固より、4月には県・市議員の不在者投票が地域の温泉館で催され、利用者の希望が多かった。この投票で町の支所を利用してから、支所の職員もよく声掛けをしてくれるようになり、市町と良好な関係作りに繋がった。個別支援でも、車いすの方が地域のスーパーで買い物をしたり、また地域の神社に参拝した際や、地域の老連芸能大会を見学した際に、参加した地域の知人と旧交を温める場面もあった。</p>
---

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念・事業所理念を朝礼時に唱和し、職員への徹底を行っている。又、利用者への接し方等はミーティング時や、日々の業務の中で不適切な対応があった場合に、都度指導を行っている。	事業所の理念「思いやり介護」は昨年、前管理者の下、ミーティングを経て作成されたもので、その理念を朝礼時に唱和し、職員への周知を図っている。現管理者が他事業所を見学した際、日頃の業務の中で言葉遣いが気になり、適宜指導を行っている。また、利用者の希望に沿った支援を行う等、日常の業務に取り組む中で理念の達成度を検証している。	開設から3年を迎え、職員への理念の周知や実践について、より深く取り組むことにより、更なる向上を期待したい。例えば、理念の下に分り易い具体的な年間行動目標（事業所・職員個人）を設定し、定期的に達成度を評価する案など、理念の深化・定着に努めることで、理念を共有して実践に繋げることを期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事へ参加し、積極的に交流するよう努めている。又、周辺に民家が無く、地域住民との交流が難しい場合もあるので、事業所の様子ที่わかる便りを配布する等し、地域とのつながりを持っている。	地域の秋祭りや花火大会の屋台に出掛けたり、町の文化祭を見学したり、また民生委員・女性会会議に参加し、運営推進会議への参加を依頼する等、地域に溶け込む努力をしている。また、コーラス・三味等線のボランティアを受け入れる、相互交流や地域の小学校の運動会見学・事業所主催の敬老会への訪問など、世代間交流も為されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域行事へ参加する場合、事前に担当者で打ち合わせを行い、認知症の方の理解を得る等を行っている。又、町内清掃等には、ゴミ拾いなどの簡単な事に参加している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	地域の方や、ご家族、利用者に対し、実施した行事報告や話し合いを行い意見交換し、サービスの向上に努めている。	隣接の小規模多機能型居宅介護と合同で定期的に開催され、利用者・家族他、地域住民代表として、地域包括支援センター職員・女性会、年に1回、市福祉保健課職員の参加がある。また、法人内の他事業所管理者も参加し、相互の事業所運営に繋げている。今年に入り、民生委員会への働きかけで、2月から民生委員の参加が可能となった。なお、女性会からの提案で、年に1回、運営推進会議の開催日に避難訓練を実施することになった。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	呉市の担当者の方や、介護相談員と話し合い、助言をいただき、改善に取り組む、より良いサービスの向上に努めている。	地域包括支援センターとは、小規模多機能型居宅介護の長期連泊者の処遇について、事業所への入居の可否等、サービス調整を一緒に検討することもある。市福祉保健課職員が運営推進会議に参加したり、また利用者が県・市会議員の不在者投票で支所を利用してから、支所の職員もよく声掛けをしてくれるようになり、良好な関係ができています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職場内で研修を行い、身体拘束による弊害を理解している。玄関の施錠も日中は行わず、併設する小規模多機能でのレクリエーションに参加したり、散歩を楽しんで頂いている。</p>	<p>事務所内に身体拘束にあたる具体的な行為を掲示し、職員が確認できるようにしている。グループ全体で身体拘束禁止のためのマニュアルも整備され、年に1回の勉強会・新人研修会にて、職員への周知が図られている。日中は玄関の施錠もせず、アラームにて見守りをし、散歩や隣接事業所のレクに参加して、拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>職場内で研修を行い、虐待防止に細心の注意を払っており、虐待防止に努めている。管理者は、職員の疲労やストレスがサービスに影響しないよう努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職場内で研修を行い、権利擁護に関する制度の理解に努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約に当たっては、利用者、ご家族に対し十分な説明を行い、疑問・不安の無いように対応している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時に、ご家族へ要望・意見・苦情等を伺うようにしている。 利用者からは随時、要望・苦情等を聞き、ミーティング時に対応を検討している。</p>	<p>利用者の意見、要望は、日々の職員との会話を通じて把握し、家族とは面会時や運営推進会議等で、職員や管理者が積極的に聴くように努めており、連絡ノートにそれを記載し、職員間で共有している。今の処、要望・相談はあるが、苦情はない。例えば、家族から、差し入れのお菓子を本人が一度に全部食べてしまい、下痢をするのが心配とのことで、職員預かりに変えた例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は、日々職員からの意見や提案を聞くよう努めている。又、管理者は、毎週のミーティングにて、代表者に意見や報告を行っている。	朝の申し送り・毎月の担当者会議・3か月に1回の全体ミーティング・4か月に1回の業務検討会議で、職員の意見や提案を聞く機会を設け、それを管理者が集約して、週1回、法人本部の代表者会議で、報告・検討・決定が為される。また、日頃から管理者は、随時職員と話す機会を設け、業務上や職場関係での悩みなどに対する支援体制も採っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	疲労やストレスの要因について気を配り、心身を休められるよう、休憩時間に配慮している。職員同士の人間関係も把握するよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部研修などに参加している。研修後は、研修報告書を作成し、ミーティング等で報告している。又、職員の資格取得に向けた支援も行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	系列の施設への見学等を行い、他施設のすぐれた点を取り入れる等を行い、サービスの向上に繋がっている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービスの開始までに、今までの生活歴・経緯などを傾聴し、信頼関係が築けるようにしている。又、要望等も連絡ノートに記載し、職員全員で把握し、情報共有した上で支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	本人や家族の思いや、要望を聞く時間を十分に設け、状況を確認した上で、出来る限りの対応を行っている。又、早急な対応を求めている相談者には、柔軟な対応を心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談時に本人や家族の意向を確認し、信頼関係を築きながら、出来る限り改善に向けた支援の提供を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	コミュニケーションを大切にし、利用者の気持ちを理解するように努めることで、家庭生活に近い生活環境の場を築くことができるように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族の面会時には、状態を報告したり、ご家族とゆっくり過ごしていただけるように配慮している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	地元の美容院や、買い物に行く等、これまでの関係の継続を積極的に支援している。又、地域行事への参加で知人との会話を楽しめるようにしている。	「地域との絆」を大事にしており、外出・買い物・地域行事を通して、馴染みの場所で馴染みの顔や声と何気ない日常を楽しめる様に支援している。例えば、普段は表情の乏しい利用者が、毎月昔から馴染みの美容院に行くと、笑顔一杯でその美容師に抱き着いて、再会を喜ぶ姿がある。また、地域の老連芸能大会を見学した際に、地元の知人と旧交を温める場面もあった。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	仲の良い利用者同士の席を近くにするなどして、関わり合いを持つことができるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービスが終了しても、利用者、ご家族とのコミュニケーションを大切に、相談、支援等に努めている。入院された場合は、お見舞いに伺ったり、電話による連絡を行っている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の意見や資料を検討しながら、本人に合ったライフスタイルを検討している。日々の行動や表情から、思いや意志を理解できるよう心掛けている。	契約時の聞き取りや家族からの情報を基に、利用者の意向の把握に努めている。職員は利用者の気持ちを大事にし、ゆっくり話す時間を作り、その方の行動を理解するよう努めている。その情報は「連絡ノート」に残し、職員間で共有している。例えば、重度な方で、トイレで排泄できそうで、動きや表情から今日はトイレで座れそうだと判断できれば、ケアに当たる場合もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用開始までの、生活歴などを十分に理解し、今までとあまり変わらない生活ができるように、支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの生活リズムやベースを尊重し、体調に考慮しながら支援している。散歩やリハビリ、レクリエーションを適宜提供するなど、希望や要望を本人と相談しながら行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>アセスメントから課題を導き出し、職員間で意見交換や、モニタリング、カンファレンス、担当者会議を開催し、介護計画を作成している。</p>	<p>利用者毎の担当者は特に決めておらず、毎月のモニタリングは職員の意見を計画作成者が集約している。家族の要望等は電話や面会時に確認し、管理者（計画作成者）が集約した後、担当者会議で介護支援専門員・職員の意見を聞き、半年毎の介護計画の見直しに繋げている。介護度が重い方の場合、まずは褥瘡の完治、次いで柵を持って自力での寝返りを支援する計画を立案した例がある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の申し送りで、利用者の様子や状態の変化、気づき等を報告し、話し合い、記録や連絡ノートにて、職員間で情報共有し、状態に変化があれば、都度、介護計画の見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人や、ご家族の要望に応じた介護計画を作り、柔軟な対応をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>利用者が安心して地域で暮らし続けられるように、運営推進会議等で意見を聞き支援している。また、地元の小学校と交流するなど、地域との交流を楽しんでいる。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>母体法人の医院からの週2回の往診と訪問看護との連携により、適切な医療が受けられるよう支援している。又、かかりつけ医への受診は、家族に通院介助をお願いしているが、無理な場合は、施設職員による通院介助を行っている。</p>	<p>母体法人の医療機関より週3～4回の往診と、法人の訪問看護から週5回（1回1～3時間）の訪問があり、適切な医療が受けられる体制にある。4分の1の利用者は以前からのかかりつけ医に受診しているが、家族による通院が困難な場合は、事業所が通院介助を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者の体調の変化や、介護職員が不安な事などは、訪問看護師に相談し、連携を取っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院した場合、本人の支援の方法に関する情報をご家族、病院関係者に提供している。また、面会時には医療関係者と話し合い、退院時の計画を本人・ご家族・職員間で話し合いを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時に看取りの指針を説明している。また、実際に看取りが必要な状態になった場合、再度ご家族に確認し、訪問看護ステーションと連携し、24時間体制で経過観察ができるようにしている。</p>	<p>事業所としては、利用者や家族の要望があれば看取りを行なう方針である。契約時に、「看取りの指針」で説明し、書面にて事前確認をしている。重度化した際には、家族・医師・管理者等で話し合いを行い、書面による同意の下、「対応指針」に基づき、訪問看護ステーションと連携して適切な支援を行う考えである。まだ、看取りの事例はない。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>職場内で研修を行い、職員全員が対応できるように、定期的に学ぶ機会を設け、緊急時に活かせる技術を身につけるように、マニュアルを基に取り組んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>定期的に防災訓練・避難訓練を行い、連絡体制、避難路や避難の手順などの確認を行っている。又、運営推進会議などを通して、協力を呼びかけている。</p>	<p>年2回、消防署の立ち会いで利用者も参加し、夜間と昼間を想定した避難訓練を、隣接の小規模多機能型居宅介護事業所と合同で行っている。誘導する利用者の体重の考慮や、避難経路である裏の掃出し段差から降りられるか等、実践的な内容となっている。その内1回は、運営推進会議と同日開催し、日頃の訓練状況を理解してもらう機会を設けている。また、会議等を通して、災害時の地域連携も呼びかけている。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人格を尊重し、プライバシーが確保できるような職員による声かけ、接し方になるよう、日常業務の中で指導を行っている。	新人研修での接遇研修や内部研修で、職員の幅広い知識の習得とスキルアップを図る体制もある。接遇の外部研修を受けて、職員の身だしなみが改善されたケースもあった。また、入浴時や排泄時の言葉かけでは、利用者の尊厳に配慮出来るように、職員同士も声掛けし、意識付けを図っている。入浴時、女性利用者に対する移乗介助は男性でも、洗身は女性職員が当たるように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	コミュニケーションを大事にすることで、自己決定の支援へとつなげている。意思決定が困難な場合でも、表情や反応から思いを理解し、希望や願いを意図的に引き出せるように、支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人の思いに沿った生活ができるように、一人ひとりに話を聞きながら支援するようにしている。利用者の生活リズムを尊重し、ゆったりとした環境で、本人の意向や要望を聞きながら、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者の希望や好みを尊重し、季節感や清潔感のある、その人らしいおしゃれをして頂けるよう支援している。また、希望者には、なじみの美容院へ行けるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	定期的に利用者に希望を聞き、季節感のある行事食作りを一緒に行っている。職員と一緒に会話を楽しみながら食事を楽しんで頂き、後片付けもできる範囲でお手伝いして頂いている。	昼・夕食は母体法人と契約している外部業者から届いたレトルト食材を温め、職員の作った汁物を添えて提供している。朝食は届いた野菜で職員が一品を作る。事業所の畑で収穫した野菜が食卓に上ることもある。利用者は、調理の下ごしらえやお盆拭き等、役割に応じた手伝いを行っている。毎月の誕生日食や行事食は、前もって利用者に嗜好調査を行い、多数決で決めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	職員が日々一緒に食事をする中で、利用者の嗜好や、嚥下状態の確認ができています。食事摂取量や、水分量は記録し、不足している場合は、栄養補助食品を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、本人の状態に合った口腔ケアを行っている。自分で口腔ケアを行っている利用者に対しても、定期的に職員が確認をし、口腔内の清潔を保持している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表を使用し、排泄パターンの把握をし、羞恥心や自尊心に配慮しながらトイレ誘導を行っている。身体状態に合わせた個別支援を行い、失敗の減少に努めている。	出来るだけトイレで排泄してもらうように、排泄記録表等により、各人の排泄パターンを把握し、トイレ誘導している。元々、夜間ポータブルトイレを使用していた利用者をトイレに誘っていたら、それが意識化され、失禁が減った例がある。また、日中、居室に閉じこもりがちだった利用者を、フロアに出るように声掛けを続けている内に、居室のポータブルトイレからトイレに移行した例もある。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便の確認と、適度な運動、水分補給を行っている。必要な場合は内服薬を服用していただいている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	予定を決めてはいるが、本人の体調や希望を考慮した支援を行っている。入浴時間も余裕をもっており、ゆっくりと自分のペースで入浴して頂いている。	週2回の午前入浴が基本だが、希望すれば朝の1番風呂や夕方も可能である。浴槽横の壁面には利用者の立ち上がり能力に応じて、持ち易い位置にスライド可能な縦手すりがあり、脱衣室にも利用者の重度化に伴い、今年から手すりが設置された。冬に霜焼けができる利用者には、毎晩足浴で対応することもある。季節を感じさせる入浴剤で寛いでもらう工夫もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人ひとりの体調を考慮し、ゆったりと休憩や睡眠をとれるように支援している。常に清潔を心がけ、安らぐことができる居室にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	看護師より、処方される薬の説明を受けている。本人への手渡しを徹底し、飲み忘れのないよう確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	充実した一日が過ごせるように、レクリエーション等を行っている。一人ひとりの能力に応じて、食事の配膳や下膳等の役割を担っていただいている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日頃から、入居者の希望を把握し、買い物や散歩などの外出を心がけている。又、併設する小規模多機能型居宅介護事業所でのレクリエーションに参加するなど、自由に過ごしていただいている。	事業所は海辺に近く、散歩に適した立地でもあり、その方の歩ける距離を考え、利用者に散歩の声かけをしている。途中の露店でミカンや野菜の買い物を楽しむこともある。元々利用していた、隣接するグループ内の事業所に出掛け、交流を深めたり、家族と一緒に外食を楽しむ利用者もいる。地域の小学校の運動会には日焼け止めクリームを塗って出かけたり、音戸の瀬戸にツツジ見物のドライブをして、非日常を満喫することもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族と話し合い、本人が小遣いを持てるようにし、定期的買い物に出かけ、欲しい物を自分で購入していただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>プライバシーに配慮しながら、希望に応じて、電話や手紙を出せるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ダイルム等の共用スペースでは、利用者が気持ち良く過ごせるように、清潔に努めている。また、季節感のある掲示物や花等を飾り、居心地の良い空間になるよう努めている。</p>	<p>フロアの掃除は、換気を考慮しながら、朝のモップかけやテーブル拭きなどを毎日の日課として、2名の利用者に手伝ってもらっている。職員が持って来た花や利用者が摘んできた庭の椿をオアシスに活けて、季節感を醸し出している。利用者と共にクリスマスの看板を作って季節を感じ、またBGMのオルゴールの調べが、海を臨めるフロアと相俟って癒しの空間となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>日当たりのよいダイルムで、日向ぼっこをしたり、TVを見たり、海を眺めたりと、自由に過ごしていただいている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人、ご家族と話し合っ、自宅で使用していた物を自由に持ち込めるようにしている。利用者が大切にしていた物に囲まれた、居心地の良い居室作りを行っている。</p>	<p>居室には、ベッド・エアコンを設置し、ベッドは利用者が使い易い機種や配置を工夫している。居室には、引き出しに整理ラベルを張った筆筒など、使い慣れた物、また家族の写真や好みの物を持ち込み、居心地よく過ごせる様にしている。ベッドから転落の危険のある利用者には、下に30センチ角のマットを敷き詰めて、安全面にも配慮している。居室の掃除を手伝ってくれる利用者もいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>個々の身体状況や能力に合わせ、家族、本人と相談しながら保有家具の配置等を検討している。本人の能力を生かしつつ安全に配慮した環境作りを行い、状態が変化した場合は、その都度話し合いを行い、整備している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム蛍の家

作成日 平成28年2月5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所理念の職員への深化・定着	理念の周知や実践についてより深く取り組む	職員一人一人の行動目標を設定し定期的に達成度を評価する	一年間
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。